

発泡スチロール球で分子模型を作ろう

2022.8.5 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

一郎 「みんな原子ってわかるかな？」
一郎 「原子ってつくもので何か知っていますか？」
〇〇 「原子記号」
〇〇 「原子爆弾」
〇〇 「原子力」
小4男子「げんしじん」
みなさん「??」
一郎 「あー、なるほど！ちょっと違うげんしだね。原始人は」
先生の声はよく通り、テンポも良くて、とてもわかりやすい。
小さい子たちも引き込まれています。

2021年8月2日に、仁木町と余市町と赤井川村の境界にある「山の家きょうどう」で、仮説実験授業の授業書《もしも原子が見えたなら》をアプリで学習しました。空気の分子模型を作りながら2時間ほど学習してから、みなさんがそれぞれの作りたい分子模型を作ってもらいました。

参加してくれた方々は福島から保養に来ていた小学生や中学生。最初は何が始まるんだと緊張していたかもしれませんが、《もしも原子が見えたなら》も分子模型作りも楽しんでくれたみたいです。

